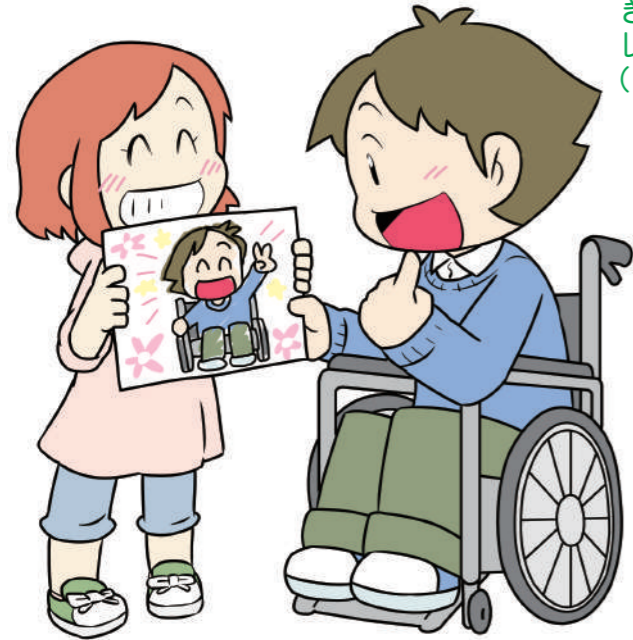


ぎずなループ事業に参加して下さっている障がい者施設様への訪問レポートです。障がい福祉サービス事業「ドリームハウス富夢富夢（とむとむ）」さんに遊びに行ってきました。（福島県喜多方市）

難しい仕事は苦手だけど



カナ：ヒロシ兄ちゃん、はい、プレゼント！
ヒロシ：ありがとう。おや、僕を描いてくれたんだね。
カナ：学校で「大好きなお友達を描きましょう」って、みんな描いたんだよ。
ヒロシ：うれしいなー。とても上手だね。カナちゃんはお絵描きが得意なんだね。
カナ：うん。クレヨンのきれいな色って大好き！

ヒロシ：得意なことがあるっていいことだよ。今日遊びに伺った障がい福祉サービスの「ドリームハウス富夢富夢（とむとむ）」さんのお話でも、得意なことがあるって大切だと思った。
カナ：それっていつもヒロシ兄ちゃんがお話ししている、障がいのある人たちが通っているところだよな。
ヒロシ：そう、いろいろな理由があってみんなと一緒にお仕事や生活するのが苦手な人たちが、頑張って生活できるように練習や勉強をする施設だよ。喜多方市の塩川町にあるんだ。

カナ：どんなお話を聞いてきたの？
ヒロシ：「富夢富夢さん」では地域の会社さんをお願いして、通ってくる障がい者の人たちができるような仕事をいただいて、みんなに指導しながら、自立できるようにお世話をしているんだ。
カナ：自立……？
ヒロシ：障がい者の人たちは、国から安心して生活できるようにと、障がい者年金をいただいているんだけど、一人で生活するには足りないのよ、富夢富夢さんのような施設で仕事をして賃金をいただかないと、一人では生活が難しいんだ。

カナ：どんなお仕事なの？
ヒロシ：外での仕事と部屋の中での仕事があるんだけど、外の仕事はみんな好きみたいだよ。例えば駐車場の掃除とかだね。でも外の仕事があるわけじゃないので、部屋の中での商品のシール貼りとか、ふきんの袋詰めのような仕事をしてるんだよ。それと僕の通っている「くるりんこ」の【銅線剥離エコビジネス】の仕事もお手伝いしていただいているんだ。

カナ：いろんなお仕事をしてるんだね。すご〜い！
ヒロシ：そう、だから職員の方はね、みんなの得手不得手を考えた上で仕事の内容を吟味して割り振りするんだよ。
カナ：カナもお手伝いするとしたら、ちゃんとカナができることを選んでくれるんだね。

ヒロシ：そういうことなんだけど、そこでとても面白いことが起きるんだって、
カナ：え、なににに！

ヒロシ：職員の方は、みんなの一人一人の個性を大切に接しているんだけど、時として思わぬ発見をすることがあるらしい。例えば身体が大きくてしっかりしているから力持ちか



おかげで仕事がかちんと出来るね



うまくできないこと
まだ多くあるけど

得意な仕事は誰よりも頑張る

などと思ったら、そうでなかったりすることもあるんだって。逆に、とても落ち着かないんで、お仕事は大丈夫なんだろうかと心配して見ていたら、モノを運ぶ仕事ではとても正確に長時間キチンと仕事をしたりと、得意な仕事にあたりとすばらしい力を発揮する、障がい者の人がいるんだって。そのように「ハマる仕事」に出会うと、障害を持っていない人よりすばらしい仕事をするとお話ししていたよ。

カナ：カナもお絵描き好きだから、ずーと止めないのと同じかな？でもそれでいつもお母さんに怒られちゃう……。
ヒロシ：まあ、そういうことになるかな？
カナ：じゃあ、お母さんの得意なことは怒ることなのかな……？いつもカナのこと怒るよ。宿題したの？とか、ピーマン食べなさい…とか。

ヒロシ：ちょっとそれは違うかもしれないけどね。

カナ：得意じゃないんだったら怒らなければいいと思う。

ヒロシ：今回すごいと思って聞いた話しなんだけど【銅線剥離エコビジネス】の仕事で、届けられたいろいろな種類の銅廃線をきちんと選り分けて、さらに一本一本を真直ぐに揃えるのがとても得意な人がいるんだって。それも楽しそうに張り切って仕事をするんですよって、職員の方が感心していたんだよ。どんな人にも得意なことやすばらしい力があるということだね。ただ、ちょっと見ただけではわからないから、わかるまで時間がかかったりすることもあるけどね。

カナ：そうすると、いっぱいお仕事できるからお給料も増えるね。

ヒロシ：その通りだね。でもいつも仕事が沢山あるわけではないから、多くの会社さんからの協力があるとうれしいんだよ。

カナ：ヒロシ兄ちゃんの通っている施設「くるりんこ」の【銅線剥離エコビジネス】のお仕事も、みんなのためになっているんだね。

ヒロシ：そうそう、カナちゃん。うれしいことにね、この「くるりんこ通信」を見ていくつもの会社さんから廃電線の提供のお話が来るようになったんだよ。

カナ：わあ、よかったね。

ヒロシ：そうだね。福島県以外の会社さんからも廃電線を送るって連絡をいただいたり、これからも楽しみなんだよ。それに「富夢富夢さん」や他の障がい者施設の職員さんからは、あまり難しくなくて「いつまで」とか「どれだけ」とかの決まりもないので、いい仕事だって褒めていただいているしね。

カナ：じゃあ、もっともっと多くの廃電線が集まるといいね。

ヒロシ：僕たち「くるりんこ」も、このような協力の輪を広げるために頑張っているから大丈夫だよ。

カナ：頑張ってるヒロシ兄ちゃんはカッコいいけど、一緒にお手伝いしてくれる会社もカッコいい会社だね。

ヒロシ：カナちゃん、いいこと言うね。

カナ：カッコいい会社、だ〜い好き！

